

ニューズレター雪氷北信越

No. 50 1996年7月19日

(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

< 案内 >

- ・新潟地区学習会
- ・見学会「低温体験と氷の実験」
- ・見学会 上越科学館「雪の結晶実験」
- ・福井地区学習会
- ・「雪と氷の科学広場」－中谷宇吉郎雪の科学館－
- ・混相流シンポジウム '96
- ・'96夏の雪氷関連催し物の案内

< 報告 >

- ・「第2回雪形ウォッチング」の報告
- ・第9回総会及び研究発表会・製品発表検討会報告
- ・講演会「建築物上の雪荷重」の報告
- ・「福井雪害対策研究会・研究発表会」報告
- ・1996年度第2回理事・幹事合同会議報告
- ・講演会「南極大陸の氷河に挑む ードームふじ基地マイナス80℃の世界」の報告

< その他 >

- ・1996年度(社)日本雪氷学会北信越支部三役・理事名簿
- ・関東・中部・西日本支部ニュースより
- ・新任の挨拶

< 案内 >

案内 新潟地区学習会「雪形特集」

1996年度第4回長岡雪氷防災実験研究所談話会と合同開催

日 時： 1996年7月26日(金) 13:30～

場 所： 長岡雪氷防災実験研究所 中会議室

発表申込先：長岡雪氷防災実験研究所 河島克久

Tel:0258-35-7522/Fax:0258-35-0020

只今発表募集中です(締め切りは当日終了時)。

職業、所属、専門分野、性別、年齢を問わず雪形について語れた

い方、どなたでも発表を歓迎します。発表希望時間は自己申告でお願いしています。7月15日現在の発表申込者は以下の通りです（順不同）。

- 1) 和泉 薫（新潟大・積雪地域災害研究センター）：あんな雪形、こんな雪形
 - 2) 遠藤八十一（森林総研・十日町）： 未定
 - 3) 山崎進（長岡市立科学博物館）：妙高山の雪形
 - 4) 大田朋子（専門学校講師兼フリーライター）： 未定
 - 5) 河島克久（長岡雪氷防災実験研究所）：雪形「川の字」は農事暦として有用か？
 - 6) 小林俊市（長岡雪氷防災実験研究所）：鋸山の雪形「猫雪」の発生条件
 - 7) 納口恭明（長岡雪氷防災実験研究所）：雪形のスケールについて
 - 8) 竹内由香里（長岡雪氷防災実験研究所）：窓から見つけた私の雪形
 - 9) 竹内由香里（長岡雪氷防災実験研究所）：雪形の生滅と融雪
- つづく・・・

案内 見学会「低温体験と氷の実験」

日時：1996年8月8日（木）10:00、11:00、13:00、14:00、15:00

会場：長岡雪氷防災実験研究所（長岡市栖吉町前山187-16）

内容：低温室における低温体験、雪と氷に関する実験など。

定員：各回20名

申込み（問い合わせ）：前日までに長岡市立科学博物館へ。定員に達し次第締め切ります。

Tel:0258-35-0184 / Fax:0258-37-3754

参加費：100円

主催：長岡市立科学博物館・日本雪氷学会北信越支部

案内 見学会 上越科学館「雪の結晶実験」

上越科学館では、低温実験室を利用して雪の結晶のできる過程を人工雪実験装置などを用いて子どもたちに説明する「雪の結晶実験」を夏休み期間中に行なっています。この実験と科学館の雪の展示などについての見学会を次のように実施しますのでふるってご参加下さい。

日時：1996年8月11日（日）11:30ごろ現地集合

場所：上越科学館（新潟県上越市）

JR直江津駅から11:23発のバス有り。

申し込み連絡先：上石勲（（株）アルゴス）

Tel:0255-72-3448 / Fax:0255-72-9426

案内 福井地区学習会

期 日：1996年8月19日（月）10:00-12:00

場 所：福井県雪対策・建設技術研究所 会議室

内 容：西コンロン山系における河川の流出特性

講 師：福井工業大学 宇治橋康行氏

参加費：昼食代 1000円

連絡先：1996年8月15日までに連絡下さい（昼食準備のため）。

福井市春日3丁目303

Tel:0776-35-2412 / Fax:0776-35-2445

福井県雪対策・建設技術研究所 杉森正義

案内 「雪と氷の科学広場」－中谷宇吉郎雪の科学館－

中谷宇吉郎雪の科学館（加賀市教育委員会）の主催、（社）日本雪氷学会北信越支部の後援により、小学校高学年以上大人までを対象にした「雪と氷の科学広場」を開催します。支部の皆さんの、特に親子での参加を歓迎いたします。

日時：1996年8月3日（土）13:00-15:40

場所：加賀市文化会館（Tel:07617-7-2811 国道8号線「加茂」交差点を山代温泉方面に折れて1分の「文化会館前」を右折。加賀温泉駅からは車で6分）

内容：第1部 南極大陸の不思議

・講演「南極の自然と観測隊の暮らし」

東 信彦氏（長岡科学技術大学）

・南極ドームF基地と電話で結んで交信します。

第2部 氷の実験・観察

・手作り氷で「チンダル像」にチャレンジ（持ち寄った氷で実験。これに適した氷の作り方の資料を希望者に配布中です。）

問い合わせ：中谷宇吉郎雪の科学館 神田健三

（Tel:07617-5-3323 / Fax:07617-5-8088）

*この時期、雪の科学館では「写真展／偏光板を通してみた氷の世界」（7/18－9/3）を開催しています。

案内 混相流シンポジウム '96

開催日：1996年7月29日、30日、31日

会場：福井商工会議所ビル（Tel:0776-33-8251）

交通：JR福井駅バス③⑩乗り場より約10分、「福井商工会議所」バス停にて下車

開催趣旨：混相流シンポジウムは日本学術会議水力学水理学研究連絡委員会から1987年に創設した日本混相流学会が幹事学会となって受け継ぎ、以来混相流に関心をもつ多くの専門分野の研究者のための学術交流の場として成果を上げてまいりました。企業関係者はじめ多くの学術分野の方が参加されるようお願いいたします。

内 容：フォーラム（Ⅰ）

前回に引き続き、「21世紀の混相流研究のあり方と産官学の協力」をテーマに問題提起と斬新な解決策やアプローチについて討論の場を設けます。

フォーラム（Ⅱ）「雪とともに生き遊ぶ」

「利雪・親雪・克雪技術」アイディア ポスター募集

問い合わせ先：山本富士夫

〒910 福井市文京3-9-1 福井大学工学部機械工学科

Tel/Fax:0776-27-8534、Fax:0776-27-8748

e-mail:yamamoto@fv.mech.fukui-u.ac.jp

案内 '96夏の雪氷関連催し物の案内

企画展 南極雪氷ものがたり（長岡市立科学博物館）

期間：7月9日（火）～9月1日（日）

内容：地学展示コーナーで以下の資料を展示します。

- ・南極大陸の地図
- ・南極大陸産の岩石およびその関連資料
- ・南極大陸の雪氷に関連する資料
- ・雪上車に関する資料

入館料：無料

問い合わせ：加藤正明（長岡市立科学博物館 地学研究室）

Tel:0258-35-0184 / Fax:0258-37-3754

e-mail:wamu@echigo.hits.ad.jp

第17回津南まつり（津南町）

期日：7月27日（土）～28日（日）

場所：大割野、中津川、沖の原
問い合わせ：津南町観光協会 Tel:0257-65-3111

ふれあい夏の雪祭り（湯之谷村）
期日：7月27日（土）～28日（日）
場所：銀山平
問い合わせ：湯之谷村雪まつり実行委員会事務局
Tel:02579-2-1122

真夏の雪まつり（松之山町）
期日：8月10日（土）
場所：大蔵寺高原
問い合わせ：松之山町観光協会 Tel:02559-6-3011

克雪利雪フェア（十日町市）
期日：8月10日（土）～12日（日）
場所：信濃川河川敷（予定）
問い合わせ：十日町市建設課克雪利雪対策室 Tel:0257-57-3111

‘96たいないサマースノーフェスティバル（黒川村）
期日：8月15日（木）
場所：胎内スキー場
問い合わせ：黒川村商工観光課 Tel: 0254-47-2711

清田山自然運動公園まつり（中里村）
期日：8月15日（木）
場所：清田山自然運動公園
問い合わせ：中里村開発課 Tel:0257-63-3111

第12回利雪遊雪克雪フェア（サマークリスマスイブ in おぢや）
期日：8月24日（土）
場所：錦鯉の里イベント広場
問い合わせ：小千谷市建設課 Tel:0258-83-3514

< 報告 >

報告 「第2回雪形ウォッチング」の報告

空はまさに五月晴れの5月18日(土)、19日(日)、「第2回雪形ウォッチング」が開催されました。

1日目は越後湯沢を出発し、石打、六日町、大和、小出、2日目は小出、守門、栃尾、下田、村松・・・と、のべ200キロ余りの越後路をゆく“おもしろ・まじめ”な我ら「雪形探検隊」。

一行33名、まずは土樽「仙の倉山の三の字」を発見！例年にない積雪と、遅い雪解けのせいか、少々太めの行書体“三”に思えたようです。

ところで、隊員つまり参加者は、雪氷学会の皆さんをはじめ、いわばその道のプロ。それに比べて、こちらは全くの初心者です。背のびして小手をかざしたり、先生方の高性能な望遠鏡を拝借したり、はたまた目の前をうろちょろしたり、と何かとご迷惑をおかけしたにもかかわらず、皆さんがあたたくレクチャーして下さいたため、有意義で楽しい2日間となりました。

とりわけ、1日目の六日町の麓から見た、八海山に鮮明に浮き出た様々な雪形や、2日目の栗が岳の入り組んだ紋様の数々は、それぞれ、だまし絵やロールシャッハの絵の世界に視界を遊ばせているような、不思議でおもしろいものでした。

遠く八海山の斜面に、ぬっと現れた大きな“豆マキ入道”や“ホラ貝”“田かき馬”など、様々な雪形が、初夏のまぶしい青空に映え、その青空を、水を張った水田が映しています。

自然をつぶさに見つめ、農事や信仰と結びつけてきた先人たちの知恵を、この雪形に見るような思いにかられました。

途中、作業に通りがかった農家のお年寄りや、たまたま雪形話に花を咲かせ、10年ぶりの大雪であった事や、半ゲシ様と農事についてを土地の言葉で聞くことができ、雪形が暮らしの中に生きていることを実感しました。

また、夜のシンポジウム、勉強会では、雪形を科学の視点からとらえることを学び、美味なる名酒と共に、雪形を堪能することもできました。

私事になりますが、県内に生きていることばを調べたり、また柏崎出身の母から米山さんの鯉型について幼い頃より聞かされてきたせいか、かねてより「雪形」には素人なりに興味がありました。そんな私にとって今回の参加は、雪形にいっそう関心をもち、また雪国ならではの先人の知恵を単に伝承としてだけではなく、サイエンスの目でとらえていこうとするこの会の姿勢に大いに感心されました。私も、雪形が解けても、解けることのない様々な雪形の謎に挑戦したくなりました。

最後にこの貴重な体験に参加できたことを改めて感謝いたします！
(専門学校講師兼フリーライター・大田朋子氏 記)

報告 講演会「建築物上の雪荷重」の報告

第3回雪工学国際会議出席のため来日された、レンセラー工科大学土木工学科のマイケル オルーク教授を講師としてお迎えして、平成8年6月6日(木)15時より、長岡技術科学大学機械系会議室で、表記演題で講演していただいた。

講演の前半では、屋根に段差を有する建物が吹きだまりによって倒壊した事例の分析から、吹きだまり荷重の算定式を導き、これがアメリカ土木学会(ASCE)の建築設計指針に織り込まれるまでの過程が紹介された。後半では、積雪荷重と地震荷重の複合荷重の考え方を、ニューヨーク州とワシントン州を例として紹介していただいた。

合衆国と日本では、降雪の量、質など、雪に対する感覚がかなり異なるため、聴講者には理解しにくい部分もあったようであるが、日本でも最近盛んに重要性が叫ばれている雪と地震の複合荷重に関する話もあり興味深い内容であった。質問も多数あり活発な討論がなされた。聴講者は40名であった。

(上村靖司幹事 記)

報告 第9回総会及び研究発表会・製品発表検討会報告

期 日： 平成8年6月6日(土)

場 所： 長岡技術大学新講義棟

参加者： 84名(うち総会出席者54名)

総会では、平成7年度事業報告案、会計報告案および平成8年度事業計画案、予算案が承認された。また、早川支部長の再任(任期1年)が承認され、山田穰氏が新たに支部理事として選出された。次いで早川支部長から、幹事長(山田穰理事)、庶務幹事(和泉幹事)、会計幹事(陸幹事)、編集幹事(竹内幹事)が委嘱された。

総会後、第4回支部授賞式が行われ、北原拓夫氏並びに小林俊市氏が大沼賞、古川征夫氏が雪氷功労賞をそれぞれ受賞された。

研究発表会・製品発表検討会では合計34件の発表があり、活発な議論が展開された

案内 福井地区学習会

期 日：1996年8月19日（月）10:00-12:00

場 所：福井県雪対策・建設技術研究所 会議室

内 容：西コンロン山系における河川の流出特性

講 師：福井工業大学 宇治橋康行氏

参加費：昼食代 1000円

連絡先：1996年8月15日までに連絡下さい（昼食準備のため）。

福井市春日3丁目303

Tel:0776-35-2412 / Fax:0776-35-2445

福井県雪対策・建設技術研究所 杉森正義

案内 「雪と氷の科学広場」－中谷宇吉郎雪の科学館－

中谷宇吉郎雪の科学館（加賀市教育委員会）の主催、（社）日本雪氷学会北信越支部の後援により、小学校高学年以上大人までを対象にした「雪と氷の科学広場」を開催します。支部の皆さんの、特に親子での参加を歓迎いたします。

日時：1996年8月3日（土）13:00-15:40

場所：加賀市文化会館（Tel:07617-7-2811 国道8号線「加茂」交差点を山代温泉方面に折れて1分の「文化会館前」を右折。加賀温泉駅からは車で6分）

内容：第1部 南極大陸の不思議

・講演「南極の自然と観測隊の暮らし」

東 信彦氏（長岡科学技術大学）

・南極ドームF基地と電話で結んで交信します。

第2部 氷の実験・観察

・手作り氷で「チンダル像」にチャレンジ（持ち寄った氷で実験。これに適した氷の作り方の資料を希望者に配布中です。）

問い合わせ：中谷宇吉郎雪の科学館 神田健三

（Tel:07617-5-3323 / Fax:07617-5-8088）

*この時期、雪の科学館では「写真展／偏光板を通してみた氷の世界」（7/18－9/3）を開催しています。

ドームふじ基地の越冬隊長を務められて今春帰国された長岡技術科学大学の東信彦さんを迎え、ビデオやスライドを交えて氷床掘削の様子を紹介していただきました。来聴者はやや少なく62名でしたが、熱心に聴講され、また、活発な質疑がありました。

<その他>

関東・中部・西日本支部ニュースより

(No. 35 1996. 6. 20 発行)

- ・支部長に就任して：権田武彦（愛知学院大学）
- ・1996年度（社）日本雪氷学会関東・中部・西日本支部通常総会報告
- ・特集雪形1 窓から見つけた私の雪形：竹内由香里（長岡雪氷防災実験研究所）
- ・特集雪形2 雪形にロマンを求めて～雪形ウォッチングに参加して～：吉本淳一（長岡技術科学大学大学院）
- ・特集雪形3 米山の雪形断章：山崎進（長岡市立科学博物館）
- ・特集雪形4 雪形と自然科学：松元高峰（北海道大学低温科学研究所）
- ・北極海航路について：泉山耕（運輸省船舶技術研究所）
- ・第25回雪氷フォーラム開催報告
- ・写真詩集の紹介：「高野山 氷花儼乱」 写真：斎藤義範、詩：上田恵弘、（株）のんぶる舎 1995. 12. 10発行
- ・混層流シンポジウム'96の開催について
- ・科学技術教育者会議「21世紀における科学技術教育」開催について
- ・読者からの声 関東以西支部に移動して：高田守昌（総合研究大学院大学）

1996年度（社）日本雪氷学会北信越支部三役・理事名簿

（1996年7月12日現在）

支部長	早川典生	長岡技術科学大学建設系教授
副支部長	高瀬信忠	金沢大学工学部教授
	小林俊一	新潟大学積雪地域災害研究センター教授
幹事長	山田 稯	防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所主任研究官

理事

阿部 勉	関越ロードメンテナンス（株）顧問
梅村晃由	長岡技術科学大学機械系教授
遠藤治郎	新潟大学農学部教授
遠藤八十一	農林水産省森林総合研究所十日町試験地主任研究官
河田脩二	金沢大学理学部教授
楠 重範	J R 東日本新潟支社工務部長
小林俊一	新潟大学積雪地域災害研究センター教授
小林 詢	信州大学教育学部教授
坂本繁美	福井県県民生活部地域振興課長
佐藤和秀	長岡工業高等専門学校教授
如沢康博	東北電力（株）新潟支店電力部部長
杉森正義	福井県雪対策・建設技術研究所総括研究員
鈴木 哲	新潟大学工学部教授
須田公男	佐藤工業（株）北陸支店次長
高瀬信忠	金沢大学工学部教授
高橋 豊	新潟県企画調整部雪対策室長
橘 秀雄	富山県生活環境部水雪土地対策課長
田村盛彰	新潟県立小千谷高等学校教諭
対馬勝年	富山大学理学部教授
中村秀臣	防災科学技術研究所長岡雪氷防災実験研究所長
新田隆三	信州大学農学部教授
早川典生	長岡技術科学大学建設系教授
前田博司	福井工業大学教授
町田 誠	町田建設（株）社長
村山 實	新潟産業大学教授
湯本喜久雄	ソーラーシステム（株）社長
横山宏太郎	農林水産省北陸農業試験場気象資源研究室長
若井武夫	北陸電力（株）地域総合研究所副所長
和田 惇	（社）北陸建設弘済会専務理事

監事

丸山敏介	新潟電機（株）社長
山口 肇	長岡工業高等専門学校教授

新任の挨拶

本号から1年間編集を担当することになりました。会員の皆様のご協力を心からお願いします。なお、ニューズレターに関するお問い合わせは下記までお願いします。

問い合わせ先：竹内由香里（長岡雪氷防災実験研究所）

〒940 長岡市栖吉町前山 187-16

Tel:0258-35-7522 / Fax:0258-35-0020